

エクステンションの日本語ファイルの利用法

導入したエクステンションの日本語ファイルを開発しました。

以下の手順に従って設置ください。



なお、本開発は経験がまだ十分にありません。

- ・導入後、未翻訳の箇所が残っている可能性もあります。また訳語が拙く意味不明、誤解ある訳など不具合がありましたら、お知らせください。早急に対応いたします。
- ・また、日本語訳のご希望のエクステンションがあれば、お知らせください。順次対応いたします。

1. 利用手順

- 1) 該当製品の zip ファイルをオフィス 365 からダウンロード (将来的に)
- 2) 解凍
- 3) 言語ファイルは、通常以下の2つのファイルから構成されます。(もっとある場合もあります)

- ・「admin」から始まるファイル
- ・「language」から始まるファイル

最初は、管理者ページ (バックエンド) の翻訳ファイル、2つ目はユーザページ (フロントエンド) の翻訳ファイルです。両方の設定が必要です。

- 4) 日本語の**翻訳ファイルの設定場所**は、そのファイル名に記述されています。

例) ファイル名「administrator・language・ja-JP」

FTP でご自分のシステムにアクセスし、ルート> administrator > language> とたどり、ja-JP フォルダーにそのファイルの中身である「ja-JP で始まる日本語ファイル」を**手動**でアップロードします。

(ja-JP フォルダーが無ければ、新規にこの名称のフォルダーを作成します)

例) 日本語ファイル : **ja-JP** は日本語を表します (en-GB は英語)

- ・形式は「**ja-JP.com_製品名.ini**」、および「**ja-JP.com_製品名.sys.ini**」です。
- ・また、ソストの種類表現としては、先頭の文字は、コンポーネントは「**.com_製品名**」、モジュールは「**.mod_製品名**」となっています。

ファイル名「languagea・ja-JP」も同様です。

上記と同様に、**FTP** でご自分のシステムにアクセスし、ルート> language> を開き、ja-JP フォルダーにその中身である「ja-JP で始まる日本語ファイル」を手動でアップロードします。

(ja-JP フォルダーが無ければ、新規にこの名称のフォルダーを作成します)

5) 管理画面、フロント画面で動作を確認してください。

注) 最初必ず、テストシステムで上記手順で適用ください。

動作結果の確認後、問題がなければ本番システムに適用ください。

注) 解凍後の「エクステンションの言語体系表」は参考です。該当エクステンションの言語体系を分析した表です。

以上